

文京区障害者（児）実態・意向調査

報 告 書

平成 18 年 3 月

文 京 区

目 次

本 編

第 1 章 調査概要

1 調査目的	1
2 調査の構成及び対象者	1
3 調査方法	1
4 調査時期	1
5 回収状況	2
6 調査項目	2
7 実態把握の視点	5
8 本報告書の見方	6

第 2 章 分析結果

1 身体障害者調査分析結果	8
基本属性について	8
住居について	10
収入・年金について	11
就労の状況について	13
介護の状況について	14
日中活動について	17
外出時のことについて	18
相談について	19
障害者福祉サービスについて	20
支援費について	40
災害対策・情報提供について	45
要望事項について	47
2 知的障害者調査分析結果	48
基本属性について	48
住居について	50
収入・年金について	51
就労の状況について	53
介護の状況について	54
日中活動について	57

	外出時のことについて	59
	相談について	60
	障害者福祉サービスについて	61
	支援費について	63
	災害対策・情報提供について	68
	要望事項について	69
3	精神障害者調査分析結果	70
	基本属性について	70
	通院・入院について	71
	住居について	73
	収入・年金について	74
	就労の状況について	76
	介護の状況について	78
	日中活動について	79
	外出時のことについて	81
	相談について	83
	災害対策・情報提供について	83
	精神保健福祉施策	85
4	就学前障害児調査分析結果	87
	基本属性について	87
	幼稚園・保育園等での生活について	89
	日常生活について	90
	悩み、不安に思うこと及び支援策について	91
	発達障害者支援法について	93
5	就学後障害児調査分析結果	95
	基本属性について	95
	通学、学校生活について	97
	放課後、日常生活について	98
	悩み、不安に思うこと及び支援策について	99
	特別支援子育て事業について	101
	発達障害者支援法について	101

第3章 自由意見等のまとめ

1	身体障害者	104
2	知的障害者	106
3	精神障害者	108
4	就学前障害児	110
5	就学後障害児	111

資料編

1	単純集計データ	115
2	調査票	199

本 編

第1章 調査概要

1 調査目的

本調査は、平成18年度に予定している文京区地域福祉計画（障害者計画）の策定に向け、区内の身体障害者、知的障害者、精神障害者並びに障害児の生活実態、障害者福祉サービス利用状況及び障害者福祉施策への意向を把握し、計画の基礎資料とするとともに、施策のあり方等の検討に資することを目的に実施した。

2 調査の構成及び対象者

- 身体障害者調査 平成17年12月1日現在で区内に居住又は区外施設等に入所している身体障害者手帳所持者のうち約3割の無作為抽出及び支援費制度の受給者証の交付者 1,554名
- 知的障害者調査 平成17年12月1日現在で区内に居住又は区外施設等に入所している愛の手帳所持者及び支援費制度の受給者証の交付者 622名
- 精神障害者調査 平成17年12月1日現在で区内に居住の精神障害者保健福祉手帳所持者 432名
- 就学前障害児調査 平成17年12月1日現在で区立の幼稚園、保育園に通っている区内在住の障害児及び福祉センターに通所している児童 70名
- 就学後障害児調査 平成17年12月1日現在で区立の小中学校の固定制心身障害学級に在籍している児童・生徒、通級制情緒障害学級（駒本小、小日向台町小、茗台中の通級学級）に通っている児童・生徒、国立又は都立の養護学校（～中等部）に在籍している児童・生徒及び区の育成室に入室している区内在住の心身障害児童 177名

3 調査方法

今回の調査は、区内に居住又は区外施設等に入所している障害者（児）から調査対象者を抽出した。調査票の配付と回収は、原則郵送としたが、視覚障害者については点字の案内文を同封して郵送し、回答が困難な場合は、本人の依頼により電話での聞き取り、又は訪問での聞き取り調査を行った。

また、障害児には、障害児調査票のほか、身体障害者手帳所持者には身体障害者の調査票を、愛の手帳所持者には知的障害者調査票を配付した。

回答に際しては、本人による記入を原則としたが、回答し得る年齢に達していない場合や、障害の状況により回答が困難な場合は、家族、介護人等が本人に協力、本人の気持ちを考慮して回答していただいた。

4 調査時期

平成18年1月6日（金）～1月27日（金）

5 回収状況

(単位：人)

調査名称	対象者数	有効回答数	有効回収率
身体障害者調査	1,554	1,019	65.6%
知的障害者調査	622	485	78.0%
精神障害者調査	432	287	66.4%
就学前障害児調査	70	55	78.6%
就学後障害児調査	177	115	65.0%
計	2,855	1,961	68.7%

6 調査項目

身体障害者・知的障害者・精神者障害者

設問内容	身体障害者	知的障害者	精神障害者
回答者	問1	問1	問1
性別、年齢	問2	問2	問3
障害者手帳所持の有無	問3	問3	
障害者手帳の種類と障害の程度	-	-	問4
障害の部位、症状	-	-	
障害が発生した年齢	-	-	
同居者	問4	問4	問2
意思伝達のための技術や使用している用具	問5	問5	
初めて精神疾患で医療機関を受診した年齢			問5
現在の通院の有無			問6
通院している人の受診の頻度			問7
通院していない人の受診していない理由			問8
精神疾患での入院の有無			問9
精神疾患で初めて入院した年齢			問10
1年以内に精神疾患で入院の有無			問11
現在までの入院の回数、入院期間			問12
精神疾患の医療で困っていること			問13
居住形態	問6	問6	問14
住居で困っていることの有無	問7	問7	問15
住居で困っていることの内容	-	-	問16
改善する際の問題点	-	-	
本人・家族の収入	問8	問8	問25
本人・家族の1ヶ月の収入額	問9	問9	問26
障害を事由とする障害年金受給の有無	問10	問10	問27
障害年金を受けていない理由			問28
就労の有無・仕事の内容	問11	問11	問29
平成17年11月の労働日数	問12	問12	問30
一般企業への就労希望の有無	問13	問13	問31
一般企業に就職するために必要なこと	問14	問14	問32
介護をしてくれる人の有無	問15	問15	
介護をしてくれる人	問16	問16	
一時的に介護ができない場合の対処	問17	問17	

設 問 内 容	身 体 障 害 者	知 的 障 害 者	精 神 障 害 者
日常生活に必要な手助け			問 22
日中の過ごし方	問 18	問 18	問 23
日中の今後の過ごし方	問 19	問 19	問 24
外出の頻度	問 20	問 20	問 17
外出時の同伴者	問 21	問 21	問 18
外出時の主な介護人	問 22	問 22	問 19
外出時の交通手段	問 23	問 23	問 20
外出の際に困ること	問 24	問 24	問 21
困ったとき悩んだときの相談先	問 25	問 25	問 33
相談する内容	問 26	問 26	問 34
障害者福祉サービス利用について 各種利用状況	問 27	問 27	
障害者福祉サービス利用について 各種利用意向	問 27	問 27	
(支援費制度利用者)支援費制度 各種利用状況	問 28	問 28	
(支援費制度利用者)支援費制度 各種サービス量の充足度	問 28	問 28	
(支援費制度利用者)支援費制度 各種サービス内容の満足度	問 28	問 28	
(支援費制度利用者)支援費制度 各種利用意向	問 28	問 28	
(支援費制度利用者)現在の利用者負担額について	問 29	問 29	
(施設入所者)現在の施設の種類の	問 30	問 30	
(施設入所者)入所年数	問 31	問 31	
(施設入所者)入所した理由	問 32	問 32	
(施設入所者)今後望む生活場所	問 33	問 33	
(施設入所者)施設で生活したい理由	-	-	
(施設入所者)施設を退所後に望む生活場所	-	-	
(施設入所者)施設を退所後に望む生活	-	-	
(施設入所者)現在の利用者負担額について	問 34	問 34	
(支援費制度利用者以外の自宅生活者)支援費制度の認知状況	問 35	問 35	
(支援費制度利用者以外の自宅生活者)支援費制度 各種利用意向	問 36	問 36	
(支援費制度利用者以外の自宅生活者)支援費制度 利用したいと思わない理由	問 36	問 36	
災害に関して不安に感じていること	問 37	問 37	問 35
災害に備えた登録制度についての意向	問 38	問 38	問 36
登録したくない理由	問 38	問 38	問 36
区が実施しているサービス等情報の受け取り状況	問 39	問 39	問 37
情報の受け取り手段	-	-	-
希望する施策や要望	問 40	問 40	
精神保健施策 各種利用状況			問 38
精神保健施策 各種サービス量の充足度			問 38
精神保健施策 各種サービス内容の満足度			問 38
精神保健施策 各種利用意向			問 38
充実を希望する施策			問 39
(介護人)性別、年齢	問 41	問 41	問 41
(介護人)就労状況	問 42	問 42	問 42
(介護人)1日の介護に要する時間	問 43	問 43	
(介護人)介護で困っていること	問 44	問 44	問 43
(介護人)身体的負担感、精神的負担感、経済的負担感	問 45	問 45	
区への自由意見等	問 46	問 46	問 40

就学前障害児・就学後障害児

設 問 内 容	就学前 障害児	就学後 障害者
性別、年齢	問 1	問 1
障害者手帳の有無、障害の程度	問 2	問 2
手帳未取得の理由	-	-
子どもからみた回答者の続柄	問 3	問 3
同居の家族	問 4	問 4
平日の通園先	問 5	
幼稚園・保育園での生活上、保護者として関心のあること	問 6	
週あたりの通園日数	問 7	
1日あたりの保育時間	問 8	
週あたりの福祉センター通所日数	問 9	
福祉センターの指導で保護者として関心のあること	問 10	
平日の通学先		問 5
学校生活を送る上で保護者として関心のあること		問 6
通学時に利用する交通機関		問 7
学校生活での不安、悩みの相談先		問 8
帰宅後や土日、夏休み等の過ごし方	問 11	
家庭内で一時的に保育出来ないときの対処	問 12	
かかっている医療機関の有無、数	問 13	
(育成室未利用者)放課後の過ごし方		問 9
(育成室未利用者)夏休み等長期の休みの過ごし方		問 10
週あたりの育成室の利用日数		問 11
育成室での生活上、特に重要なこと		問 12
育成室と通学している学校との距離について		問 13
子育てにおける悩み、不安に思うこと	問 14	問 14
子育てにおける悩み、不安に思うことの相談先	問 15	問 15
障害児を持つ家庭へ充実して欲しい支援策	問 16	問 16
小学校就学後の学童保育事業(育成室)の利用意向	問 17	
一時保育事業(特別支援子育て事業)の認知、利用状況、利用意向		問 17
「1歳・3歳児健康診査時における発達障害の早期発見」のあり方	問 18	問 18
「(小学校)入学時の健康診断における発達障害の早期発見」のあり方	問 19	問 19
「(小学校)就学前から就学後の継続的な発達支援」のあり方	問 20	問 20
支援を行う際の児童や保護者の意思の尊重について	問 21	問 21
区への自由意見等		

7 実態把握の視点

障害者（児）の実態を把握

本調査において、障害者（児）本人の年齢・性別、障害の種類・程度、住まいの形態や同居者などの属性、また、就労状況や収入、日常生活の状況など、さらには、そこから生じる問題点や障害者（児）が抱える課題などを把握するため、年齢別や障害程度別などのクロス集計により実態を把握する。

介護人の実態を把握

介護の状況や介護人の属性、介護する上での悩みや負担感を把握するため、障害の種類・程度、介護に要する時間のクロス集計により実態を把握する。

各種サービス、支援策等の利用状況・意向・理由を把握

身体・知的障害者については、障害者福祉サービスの利用状況、利用意向を整理した上、その把握を行う。また、支援費についても、利用者（施設入所者を含む。）、未利用者の状況を把握し、それらを踏まえて、それぞれの実態を把握する。

精神障害者においては、精神保健福祉施策の利用状況、利用意向を整理する。

就学前・後の障害児では、家庭への支援策、特別子育て事業、発達障害者支援法について、障害の手帳の有無や通園（学）先のクロス集計により実態を把握する。

災害対策・情報提供・要望事項を把握

身体・知的・精神障害者において、災害時での不安な点、新たに検討している登録制度についての意向、区政情報の伝達状況・情報源、区政への要望を障害種類別等でクロス集計を行い、実態を把握する。

自由記入の分類・整理

本調査において、調査票の最後に自由記入欄を設け、数量的な分析だけでは把握しきれない障害者（児）の率直な意見・要望等をその内容によって項目を分類、整理し、障害者（児）の状況の把握をする。

8 本報告書の見方

図表中の「n」は、設問への回答者数を表す。

図表中の無回答とは、無記入を意味している。

調査結果の数値は、比率(%)で表記した。%値は、小数点以下第2位を四捨五入して算出し、小数点第1位までを表示している。したがって、回答者比率の合計は必ずしも100%にならない場合(99.9%または100.1%など)がある。

「全体」とは%値の母数となる値で、その質問に対する回答者数(回答すべき人の数)である。

回答比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問については、すべての回答比率の合計が100%を超えることがある。

クロス集計では、分析軸の非該当(回答と回答者等に矛盾が生じている場合)を省略している場合があり、分析軸の「n」の合計値と「全体」が一致しない場合がある。

図表中の選択肢の内容について、一部省略している場合がある。

項目の「障害の程度」においては、身体障害者は身体障害者手帳、知的障害者は愛の手帳、精神障害者は精神障害者保健福祉手帳の程度により分析している。

身体障害者手帳の程度の分類については、下表のとおり区分している場合がある。

調査票における選択肢	カテゴリー区分
1級、2級	重 度
3級、4級	中 度
5級、6級	軽 度

身体障害者及び知的障害者において、主な障害の部位・症状は下表のとおり区分した。

調査票における選択肢	身体障害者区分	知的障害者区分	
視覚	視覚障害	身体の障害	
聴覚	聴覚障害		
平衡機能	音声・言語障害		
音声・言語			
そしゃく機能			
上肢	肢体不自由		
下肢			
体幹機能	内部障害		
心臓機能			
呼吸器機能			
小腸機能			
直腸・膀胱機能			
免疫機能	身体以外の障害		ダウン症候群
ダウン症候群			自閉症・自閉的傾向
自閉症・自閉的傾向		てんかん	
てんかん		精神疾患	
精神疾患	その他	その他	
その他			

身体以外の障害区分について

身体障害者調査においては、身体の障害以外の主な障害の部位・症状として、「ダウン症候群」、「自閉症・自閉的傾向」、「てんかん」と「精神疾患」の4つを選択肢とした。

本調査では、平成 15 年 4 月より実施されている支援費制度について、その利用実態を明らかにし、今後の施策のあり方を検討するために、サービスごとに利用状況・意向の設問を設けた。

支援費制度の下で利用できるサービスは、居宅サービスと施設サービスがあり、具体的なサービス内容は、下表のとおりである。

	サービスの内容		説明
居宅サービス	居宅介護 (ホームヘルプ)	身体介護	入浴、排せつ及び食事等の介護
		家事援助	調理、洗濯及び掃除等の家事の援助
		移動介護	外出(通園、通学、通勤等は除く)の際の移動の介護
		日常生活支援	日常生活全般に常時の支援を要する全身性障害者に対して行う、日常生活支援(身体介護、家事援助、見守り等の支援) *全身性障害者とは、両上肢、両下肢のいずれにも障害が認められる肢体不自由1級の者及びこれと同等のサービスが必要であると市町村が認める者
	デイサービス		デイサービスセンター等で、機能訓練、創作的活動等を行うサービス
	短期入所(ショートステイ)		通常介護をしている方が、疾病、出産、冠婚葬祭、旅行、休息等の理由で、一時的に介護ができないときに施設や病院で短期間保護するサービス
地域生活援助(グループホーム)		地域において共同して日常生活を営むことができるよう、共同生活住居を提供し、世話人が、食事の提供、相談、その他日常生活上の援助を行うサービス	
施設サービス	入所施設	更生施設	入所して、自立した生活をおくるために指導・訓練を受ける施設
		療護施設	常時介護が必要な身体障害者が、治療や日常生活に必要な援助を受ける施設
		授産施設	雇用されることが困難な方が、入所して、自立のために必要な職業の訓練や提供を受ける施設
		通勤寮	働いている知的障害者が、一定期間入所し、独立自活のために必要な援助を受けながら生活する施設
	通所施設	更生施設	通所して、自立した生活をおくるために指導・訓練を受ける施設
		授産施設	雇用されることが困難な方が、通所して、自立のために必要な職業の訓練や提供を受ける施設